

第20号

# 千種さわやか通信

発行者：千種さわやかクラブ  
 (千種区老人クラブ連合会)  
 TEL : 052-753-1942  
 発行人 塚原義政  
 令和3年4月1日発行



このたび、会員情報誌「千種さわやか通信」は、第二〇号を迎えることができました。会員の皆さんに厚くお礼申し上げます。

昨年度は、コロナ禍の影響により、私たちの暮らしは一変し、これまでに経験したことのない大変な一年でした。新型コロナウイルス感染予防のため、老人クラブの各行事も自粛しました。皆様方もステイホームを余儀なくされたと思いま

す。ワクチン接種が進むなど明るい兆しも見えてきましたが、収束までにはまだ時間がかかると思われます。

日本老年医学会は、新型コロナウイルス感染の流行で外出を控えることによるフレイル（虚弱）の進行、認知機能の低下について注意を呼びかけています。

高齢者の社会参加を働きかけ、仲間づくりの輪を広げてまいります。ウィズコロナ時代、創意工夫を凝らし、楽しい老人クラブ活動を目指します！皆様のご理解、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。



「イズコロナ時代 創意工夫を凝らし 楽しい老人クラブ活動を！」

「伸ばそう健康寿命 担ねよう地域づくり」

千種区老人クラブ連合会

会長 塚原義政

「フレイル予防」には①栄養：バランスの良い食事、特にたんぱく質をよく摂取する。②運動：毎日歩く、体操をするなど自分のリズムに合わせ、体をよく動かす。③社会参加：地域での多様なつながりを持ち仲間とよく交流するなど三つの柱を中心に活動することが大切です。

千種さわやかクラブでは、「伸ばそう！健康寿命、担おう！地域づくり」をメインテーマに、ウィズコロナ時代の新生活様式に変え、それに慣れながら高齢者の健康づくり・フレイル（虚弱）予防で元気高齢者を目指して活動します。そして高齢者の社会参加を働きかけ、仲間づくりの輪を広げてまいります。ウィズコロナ時代、創意工夫を凝らし、楽しい老人クラブ活動を目指します！皆様のご理解、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

高見学区内の旧跡  
**「振甫プール」**  
 会長 水野章博



「振甫プール」と聞いて懐かしく思われる方も多いと思うですが、現在、振甫プールはございません。跡地に千種生涯学習センターなど公共施設が建設されました。その一角に振甫プールの歴史を讃える「泳心一路」と記された記念碑が建立されております。

当プールは、昭和八年に開場され昭和四八年に廃止となりましたが、その後改修工事が行われ市民プール

として開場されました。その後、老朽化などから平成二十一年三月三十一日をもつて、その長い歴史に幕を下ろすことになります。当プールの歴史を見ますと、昭和八年七月に競泳用五十メートル、さらに一万人余収容可能なスタンドにナイター照明を備えた、名古屋市内で初めての本格的プールとして運用され、全国大会が開催されるなど日本を代表するプールでした。

戦後は数々の国際大会が開催され、競技用プールとしてはもちろんのこと、市民を元気付ける憩いの場として、数多くの市民に利用されました。今はもう子ども達の脳やかな声は聞こえませんが、大切な思い出が、記念碑とともに静かにたたずんでいます。

## 会員募集中！

千種さわやかクラブでは常時会員を募集しています。お住いの老人クラブ役員、もしくは区役所老人クラブ担当へお申し出ください。  
 ※千種学区・大和学区・南代学区は老人クラブがありません。  
 老人クラブ担当 TEL753-1942



コロナ禍でもできることから

## 上野学区老人クラブ連合会

会長 熊谷敏行

上野学区老人クラブ連合会には六つの老人クラブがあります。上野コミュニティセンターを主な活動拠点にして「健康教室」「防犯教室」などの屋内活動や「グラウンド・ゴルフ」「バス旅行」などの屋外活動をしてきました。

上野小学校での「昔遊び」「あいさつ運動」「学区体育祭」など、子ども達とのふれあいにも積極的に関わっています。昨年は新型コロナ感染症の拡大で、予定していた催しがほとんどできませんでしたが、十一月には、「グラウンド・ゴルフ大会を『感染予防』に注意しながら開催することができました。今は、コロナ禍が収まるこを願いつつ、会員を拡大するための準備に取り組んでいます。



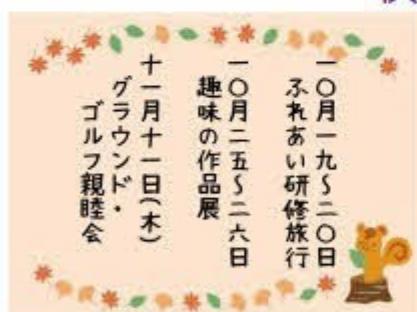
## お知らせ

令和3年度から「千種さわやかポイント」制度が始まります。この制度は、会員の皆様にいろいろな行事に参加していただき、クラブ活動を活性化していただくための制度です。単位クラブ・学区老連・区老連の行事参加ポイントや新規会員紹介ポイントなどを集めて記念品をもらいましょう。



区老連  
コ-ナ-

## 令和3年度 千種区老人クラブ連合会行事予定

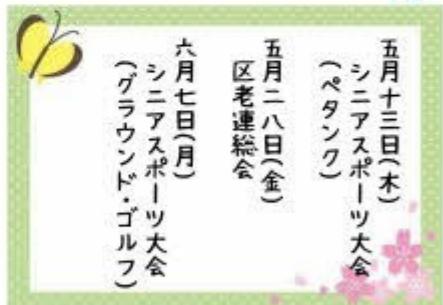


秋

九月二〇日(火)  
シニアスポーツ大会  
(カローリング、クロリティ)  
九月一七日(金)  
親睦のつどい

夏

七月二〇日(火)  
シニアスポーツ大会



春

五月十三日(木)  
シニアスポーツ大会  
(ペタンク)  
五月二八日(金)  
区老連総会  
六月七日(月)  
シニアスポーツ大会  
(グラウンド・ゴルフ)



冬

十二月二二日(火)  
体力測定の会  
文化(健康)講座  
二月二六日(火)  
演芸大会

## 千種区話題コ-ナ- 「千種区の誕生」

第一回目ということで千種区の生い立ちについて記述します。千種区の幕開けは、紀元前二百年ご三百年頃、尾張物部氏が古井村に集落をなし、営みを始めたからといわれています。明治二十二年、名古屋市は市制を施行しました。その当時の千種区は、愛知郡千種村、鍋屋町があり、大正十年ほどどの区域が合併することにより名古屋市東区となりました。昭和十二年十月一日、東区より分區し千種区が誕生しました。同じ年に東山動物園も誕生しました。高村を編入し、昭和三十年に千種区に至つて現在に至つては猪市まであります。